



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2016年10月1日

10月号・第177号

奈良・人と自然の会

会長 鈴木 末一



草刈り隊・朝の準備

Contents



ホームページでは、カラーで見ることが出来ます

URL <http://www.naranature.com>

壮春力歩	1	俳句百景	11
多土済々	2	癒しの散歩道 & ならやま茶論	12
Monthly Repo.ならやま	3	ギャラリーならやま	13
里山の今	4・5・6	ならやまプロジェクト	14
8月・GGプロジェクト・報告	7	行事案内	15
8月・自然教室・報告	8	行事案内 & 行事予告 & 奈良学クイズ	16
9月・歴文研修会・報告	9	幹事会報告・編集後記	17
やさしい病害虫講座	10		

壮春力歩

会長 鈴木 末 一

◆癒しの空間

このところ何かと文書の作成に追われています。会の関係だけに留まらず、自治会の会議資料や各種要望書など多方面に渡っています。間もなく年末には、後期高齢者に一歩足を踏み入れることとなります。パソコンに向かってキーボードを叩こうとしても、スムーズに進まないことが次第に増えてきました。そのような時には、いくら頑張ってもパソコンと対峙していても、どうしようもないことが多い。ふと気が付けば、車に乗り込み、ハンドルを握ると巡視も兼ねて、向かう先はならやまの里山林となります。JRのトンネルをくぐり抜けると、整備された里山の原風景が目に見え込んで来ます。10年前、鬱蒼として人畜の入り込むのも拒絶しているかのような情景が広がっていたのが、まるで嘘であるかのようにあります。会員の皆さんの汗と土にまみれての奮闘努力の結晶であります。3m以上もの笹藪が生い茂っていたのを、来る日も来る日も刈払い機での作業に励んでいただいたNさんの姿が蘇ってきます。

お正月の三が日と雨の日以外は、毎日笹藪などの処理に勤しんでいただきました。途中の段階で、全て狩り払ってしまうと、鳥や生物たちの生息環境の変化により、生物多様性が損なわれてしまうのではとの意見も飛び交いましたが、整備が進むと共に、そのような危惧も少しずつ解消されてきました。夏の公開イベントの時に、子どもさんが玉虫を見つけてくれました。Kさんによると、約580種にも及ぶ昆虫を確認していますとのこと。また、希少種などの草本類もパトロール班や自然観察チームの皆さんのご努力で保護が行き届きつつあります。

暫くの間、ならやまの緑に満ちた光景を目に焼き付けて帰宅、再びパソコンに向かうと指が動きだしてくれます。やはり、ならやま里山林の

「緑」は、心を癒し活力を与えてくれる「癒しの空間」となっています。「ならやまユートピア」のデッサンに取り組もうではありませんか。

◆発想の転換

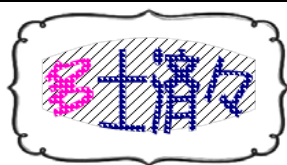
ある接着剤のメーカーでのことですが、接着性能を高める研究の途上、その目的に相反して、一度は接着するけれども剥がそうとすれば、簡単に剥がすことができる接着剤ができてしまったのでした。一般常識では、研究が失敗したことになるのですが、研究チームのメンバーの中に、「こんな素晴らしい接着剤はないよ」と、大喜びをされた人がいたのです。これこそ発想の転換ですね。

「真っ直ぐ一直線」は勿論良いのですが、時には違った角度から思い巡らすことも大切ではないでしょうか。そのような何気ない一言が発端となり、次々と新商品を開発し、世界のトップメーカーとしての地位を確立しています。

◆記念誌編纂・ならやまの昔

関係機関、会員の皆様方のお力添えによりまして玉稿も集まりました。編集作業などにつきましては、委員会の皆様方にご尽力いただいております。記録写真関係のデータを収集していますと、10年、15年の時の流れを彷彿とさせることがあります。記念誌には誌面の関係もありますので、取捨選択しての掲載になります。初期の頃の写真を掲載しましたので現状と対比してご覧下さい。





寺田 正博 さん

顧問 阿部 和生

いつもダンディ！

平成16年1月の新年会以来何かとご薫陶をうけ、刺激をもらった先生です。「会」の創設主要メンバーのお一人で、最初の難しい運営の時、議論を重ね提案を行い初代会長川井さんや事務方の弓場さんとともに、「会」を牽引し基礎を築き上げてくれました。

お洒落で、観察会やハイキングなどに、さりげなくベレー帽があり、特徴のあるリュックを持たれ颯爽と歩かれます。その博識ぶりに驚嘆し「少しは近づきたい」となにかと教を請うた事ですが、お酒を飲むことだけが一人前になって、後はとてもとても現実です。長年関わってこられた蓄積であろうと尋ねますと、学生時代の登山活動や社会人では同好会山歩き程度だそうで、自然との取り組みは、退職後といわれます。沢山の蔵書をお持ちで、持ち前の博覧強記で頭に入れられ実践は例えば淀川縁での植生調査や、野鳥観察で磨き上げられたと拝察しています。猛勉強と実践があったのです。

奈良県下の東海自然歩道観察会は、下見の充実があり大変な好評で、会員増に繋がったイベントでした。毎回10キロ強を観察しながら歩く催事でしたが、県の地形を覚え、植生を観る、時に歴史も垣間見る有意義な内容で、笠置から曾爾高原までを完歩した方が何人もおられたと記憶しています。完歩の記念品が寺田さん手作りの「篆刻印」でした。羨望した事です。

森林インストラクター受験のための「中国四国森林管理局主催の勉強会」では長く講師を努めておられ、関西の受講生を指導され人材育成にご尽力されています。森林への思い入れが深く、滋賀県朽木村「森と山の塾」に通われ、実践を体に刻み込まれました。これらの知識と経験を基に「会」での社会貢献事業の端緒となる「忍辱山国有林整備」を主導していただきました。動力機器は使用せず、手のこぎり、なた、厚鎌、ロープ、笛という基本用具で作業に汗したことが昨日のことのようです。20歳を超える40年～50年生のヒノキやスギの人工林伐採・整備は、とても快感で活動日が楽しみに変わっていった事です。

ある日、近在の方が来られ話し込んでゆかれました。「ボランティアで整備してるのかいな、ソリヤー大変やな…」と次の活動日に飲み物の差し入れを持参してくれました。地



域の人々に感謝されていると実感した一コマでした。素人集団の山仕事は、厳しい指導ながらも、作業前の打ち合わせ、伐採木への感謝、3～4人のチーム編成での活動、掛かり木には周辺チームが寄り合っでの共同作業、切り捨て間伐でありながらも枝葉の整備を含め、美しい整備後の山にすること等々を学びつつの楽しいワイワイの山作業でした。ヒノキ林終了、スギ林終了そして二次林への挑戦と進んだことで参加者は力をつけ、その後の里山林整備に大きな力となりました。感謝です。

「会」での活動とともに、奈良森林インストラクター会副会長としても尽力され、また毎年12月には春日御祭にもご参加、西宮に移られてからも篆刻や仏画を作成、毎年京都の佛教美術展に出品されるなど、幅広い趣味活動をなさっています。佛画は26



年には大阪「創彩展」で優秀賞を得ておられます。精緻な描写作品は観る者を和ませ引き込みます。最近では優美な観音様の絵を描かれていて「曼陀羅様仏画」から何か心境の変化でもと勝手に想像しています。

昨年歴史文化の催事で久々に一緒しました。

健康に留意され、ご参加の機会が増えることを願っています。

Monthly Repo. ならやま

八木 順一

8月20日(土) イベント晴れ 41名+67名+2名

夏休み2度目のイベント。好天に恵まれ無事終了。午前中は飯ごう炊さんと、カレー調理に取り組んだが、小さな子も慣れない手つきで一生懸命野菜を刻む。こういった経験をいっぱいして欲しいものだ。おいしく出来上がったカレーを味わった後、午後は自然工作に取り組んだり、里山探検に出る。セミタロー作りや昆虫クイズの他、里山のあちこちに仕組まれたゲームや自然遊びを堪能する。最後には大人はグッタリだったが、子供たちは元気いっぱい。このイベントも回を重ねるごとに中身も運営方法も充実してきたようだ。

8月25日(木) 活動 晴れ 54名+3名+1名

依然として乾燥した暑い日が続く。このため畑等への灌水が欠かせない。ビオ班や花班等がこういった作業にかかりきりになり大変である。また、里山Gや景観Gは夏草の草刈りに追われる。そして、いよいよ秋を目前にして、秋野菜や秋花の準備に取り組んだのがエコGである。また、景観Gが中心となって蕎麦の種まきも終了。収穫を楽しみにしたい。シニア3名と見学者1名来訪。

9月1日(木) 活動 晴れ 63名+3名

協働作業でソバ畑の種まきを行う。30分ほどで終了。

この後各Gとも薪の準備や野菜の収穫・移植の他サイト周辺の草刈り、そして水生生物調査などに時間を過ごす。また花畑の整備やパトロールにも取り組む。打ち合わせでは協働作業の段取りを中心に自然観察Gや月例研、そして歴史文からも連絡や参加要請があった。特に自然観察チームからの平城宮跡のツバメの埒入りの話が興



味深かった。

今日も外部からの来訪者3名。エコG案山子作り3回目。全部で6体になった。

9月9日(金) 振り替え活動 晴れ 35名

振り替え作業日。まだまだ暑い、しのぎ易くなった。参加者も少なかったが、活動も捗った。打ち合わせでは、マムシ出没の件で注意を喚起。湿った場所での活動には十分気をつけたいものだ。各Gとも秋の野菜や花の準備、その他サイト周辺の草刈りなど景観整備にも汗を流す。また、里山Gでは薪の作製や棚の準備にも取り組んだ。

9月15日(木) 活動 晴れ 62名+8名+2名

今日は当会と関係が深い生駒宝の里から8名の会員が来訪し、里山Gとともに山に入り、作業を行う。活動内容も好評で、「もっと来たい。」といった声も聞かれる。打ち合わせではこの団体の紹介の他、マムシへの注意喚起や諸行事への協力・参加依頼等が行われる。



里山Gでは枯れ木の伐採やまき割り、エコGは大根の種まきやニンニク畑の畝作り、景観Gはサイト周辺の草刈りを行う。その他花班はアジサイの草取りと施肥、ビオ班は池の周りの草刈りや水生生物調査を行う。また、パト班もパトロールの他観察路の整備にも取り組んだ。



今日からは、夏時間での活動も終わり、平常の時間帯での作業になったが、まだ体も慣れず、しんどい一日の活動になった。

里山グループだより

中井弘

グリーンギフトプロジェクト

を数日後に控え、子供達や参加者の、うるしかぶれを防ぐために、里山林の観察路沿いに繁茂している漆の木の伐採を行ないました。この機会にウルシについて調べてみました。

かぶれる木は「ツタウルシ」、「ハゼノキ」、「ヤマハゼ」、「ヤマウルシ」などが主なものです。いずれもウルシ科でツタウルシを除いて小葉が複数集まって1枚の葉を構成する羽状複葉を持ち、互生です。春から初夏がかぶれやすい時期です。

「かぶれ」の原因となるのは、葉をちぎったり枝や幹を折った時に出る白い樹液に含まれる「ウルシオール」という、水に溶けない物質です。

かぶれの程度は人によってまちまちですが、接触して2～数日後に症状が出てきます。そのため気付く前に他の部分まで拡散させてしまいます。

最強のかぶれをおこすのが、毒性の強い「ツタウルシ」です。気根で他の木の幹や岩を這い上り、葉は長い葉柄の先に3枚ずつ付くので判り易く、秋には最も早く鮮やかに紅葉します。

「ハゼノキ」「ヤマハゼ」「ヤマウルシ」の内、ハゼノキ以外は葉や柄に毛があります。ヤマウルシは若枝や葉柄が赤いのが特徴です。いずれも幼木の時を除き、葉はほぼ全縁で鋸歯がありません。

予防の基本(ネットの「健康生活」皮膚炎より)

1. 山での作業が終わったらすぐ顔や手首など露出部分を、石鹸を使って完全に洗い、他の部分に広げないことです。
2. 運悪く樹液に触れたら、まずティッシュで拡散しないよう注意して拭き取ってください。
3. かゆみを伴うかぶれが出れば、決して、掻かずに、ステロイド軟膏を塗ります。
4. シャワーだけでは、頭髮についた原因物質を洗い流せません。かぶれの範囲を全身に広げることになります。石鹸で丁寧に洗うことが必要です。

特に山の男性に注意喚起します。山中で用を足す時は、事前に手を洗うかウェットティッシュで拭いてからにすることです。



里山の今

エコファームだより

吉川利文

蓋をあけたような天で

九月かな 風天(＝渥美清)

そんな秋の到来を期待したが、台風と台風の合間の、9月の初日の活動日だけは確かにそんな天気だった。でもその後は熱帯低気圧、秋雨前線、やれまた台風だとぐずぐず…。

閑和休題。畑も今は季節の変わり目。モロヘイヤ、ピーマン、シシトウ、ヒメトウガンなど夏野菜を収穫し、跡にニンジン、ダイコン、日野菜、カブなど冬野菜の種をまく。面白いのは、九条ネギもすべて根っこから抜くのだが、これは2、3週間陰干しして植えなおす。古参の同僚が教えてくれた。「ネギは土から抜かれて、枯れてしまうのでは、と恐怖心を抱き、できるだけ水分を摂ろうと株を増やす。これを利用して、植えなおすと収量が増える。昔からやってること」。作物と先人の知恵比べに感動させられる。

変わりやすい秋の空の下ならではのちょっとした話をもうひとつ“収穫”した。

急な土砂降りを東屋で雨宿りしながら、「ならやまのシェフ」池田敬二郎さんと雑談に花が咲いた。

池田さんはならやま大通りの崖下と、東池の西側に、それぞれ畳1枚分くらいと、1メートル四方のミニ畑を作っている。栽培しているのは山葵。

「低温を好む山葵には今年の夏はきつくて、ダメかなと思ったけど、新芽が出ていた」とにっこり。

池田さんは、ならやまで山葵が定着するかどうか試しているという。「ならやまの土は『トラ土』と言って、赤土に砂利が混ざったもので、昔、東大寺の瓦の原料にされた。瓦の窯跡が近隣に残っている」。作物にも向かない土だったが、われらが先輩たちは笹藪を切り開いただけでなく、土壌改良にも尽力された、というのだ。山葵は、その改良度のリトマス紙ともなる、という。

深まる秋の下、それぞれの野良作業は続く。

あかとんぼ じっとしたまま

あすどうする 風天

景観グループだより

守口京子

***池とその周辺での活動**

6年前、藪が茂っていた休耕田の藪を刈り取り、パワーショベルで池を掘ってもらった。ならやま第1号のならやま西池だ。水を入れるといろいろの水草が生え、美しい花が咲いた。水生昆虫が泳ぎ回り、エビやザリガニやドジョウがやって来た。大勢の人が見に来た。

1年たつと大量の泥が底に積み、水草は育たなくなり、大型のヨシ、ガマが残るだけとなった。昆虫類も種類が減った。人があまり来なくなった。

2週に一度行う水生生物調査は3, 4人のグループで行い、生き物と触れ合い、メンバーともおしゃべりする楽しいひと時だ。それ以外の活動は結構孤独な活動で、草刈り、用水路や木道の整備、湿地の整備などで、いくらしてもきりが無いが、ほったらかしにすると、元の藪に戻るの、それだけは避けたいとの思いで続けている。

例外的に人がいっぱい来るのは夏のイベントだ。ドジョウが出てきて大喜びのお父さん、こわごとザリガニを持ってみて「持てた!」と叫ぶ子供。親子もスタッフも何となく楽しんでる。ガマの穂が面白いので、親子の案内の折りに取り上げた。

「穂の形は何に似てる?」と問うと「ウィナーソーセージ」まではよかったのだけれど、因幡の白兎の話をしようとすると、一同シーン、子どもちろん親も「知らない」と首を振ったので、やむなく撤退。残念だった。

静けさが戻った池で、トンボが飛び回っている。

**パトロール班だより**

櫻木晴代

異常ともいえる気温を年々更新する日本の夏。自然界に変化がない訳

がありません。さて、ならやまの里山林は?と心配になるところです。

夏休みのイベントには自然の中で過ごす楽しみを求めて親子が参加します。車から飛び出してきた子どもたちは、大人が何も言わなくても、草むらの虫を追い始め、咲いている野の花を観察し、メシバやオシベの形の不思議に驚き、スタッフに見せに来ました。「良いところに気が付いたね。植物は動けないから、子孫を増やしたり、遠くへ種を飛ばしたりするために色々な知恵を働かせているの。ここには沢山の植物があるから調べてみてね」と開会前から交流が始まりました。

1回目のイベント時、カスタネット作りも楽しみ、終わりにさしかかった頃、満足の言葉を期待して感想を聞いた二人の男の子から、「山の中に入ると思って楽しみにしていたのに、入らなかったのがっかりした」と抗議とともれる口調での言葉が返ってきました。きっと子どもたちは、山の中では沢山の虫や鳥に出会え、冒険心を満足させる何かがいっぱいあると思って期待していたのでしょう。本当に残念そうでした。

何とその男の子の一人が2回目のイベントにも参加していました。帰り際に今日の感想は?と尋ねてみました。「今回は山に入れてすごく楽しかったよ。大満足」とお母さんともども満面の笑みを浮かべて感想を伝えてくれました。パトロール班として嬉しい言葉を聞くことができました。やっぱり、いつの時代にも自然のもたらす魅力は普遍なのだと感強くしました。

野や山や川で暗くなるまで遊び興じていた私たちシニア世代。一方、ゲームや塾通いで忙しい現代の多くの子どもたち。一人でも多くの子どもたちに自然の素晴らしさ、不思議さ、楽しさを知ってほしい。これがこの会の目指すものではないのかと勝手に思いつつ、鎌とハサミを携え観察路を回っています。

ならやま虫だより

菊川年明

◆ならやまのジャコウアゲハ

ならやまBCのウマノスズクサ

とジャコウアゲハは以前に他所から移したものであるが、以来、どちらも順調に推移してきた。しかし、これは昨年秋までのことで、ウマノスズクサは超元気であるが、ジャコウアゲハの方は、春になっても全く姿を現さず、絶滅したとしか思えない状態になっていた。

ただし、厳密に言うと、4月の終わり頃に1回だけオス1匹が姿を見せたことがあった。このときは例年よりは遅いが、続いてメスも現れるものと推測していた。しかし、これは糠喜びに終わり、その他のことは先々月(8月)号の西谷さんの記事(馬の鈴草と麝香揚羽)に詳しい。

ジャコウアゲハ絶滅の原因として思い当たるのは、西谷さんの記事のとおり、園地整備のために刈り取った雑草に蛹がついていたのではないかということだった。しかし、ジャコウアゲハの終齢幼虫はずいぶん遠くまで行き、思いがけないところで蛹化する個体もあるので、絶滅は「まさか」の感があった。思案するうちに寄生ハチ・ハエの異常発生にも考えが及び、橿原市昆虫館のご助力も得たが、はっきりしたことはわからなかった。

ジャコウアゲハの生息を諦めていた8月の下旬のある日、突然にジャコウアゲハのメスが現れた。8月の初めに他所から終齢の幼虫数匹を移していたので、これが成虫になったのか、あるいは外部からの飛来だと思われた。ジャコウアゲハは食草(ウマノスズクサ)の生えている場所が限られていることと、飛翔能力が弱いので生育場所を大きく離れることはほとんどないと言われており、外部からの飛来だとすれば希有のことである。

最近、ならやまでたくさんではないが幼虫を見かけるようになり、ときには成虫が現れるようになったので、ジャコウアゲハの絶滅はほぼ杞憂になるようである。



里山の今

ならやま花だより

櫻木晴代

先日、東京銀座の裏通りにある野の花を専門に扱う店をのぞいてみました。

以前からあり、時々店の前は通っていたのですが、店内に入るのは初めてでした。お茶席などの茶花として珍重されている野の花はどのように扱われているのかしら?と思い店内に入ると、ならやまですら普通に目にする野の花が、筒に入れられてお行儀よくならなっていました。まず正面の紫色のシオンが目にはいりました。ススキは珍しくありませんが、ミズヒキ、ヨウシュヤマゴボウ、フジバカマ、オミナエシ等が並んでいました。驚いたことにあのエノコログサ(ネコジャラシ)までもが商品として並んでいたのです。一体いくらで売られているのかしら?と興味津々。恐る恐る尋ねてみました。驚くなかれ!草ものは平均200円から300円。一本の値段です。枝ものは500円からということでした。以前、柿の葉など身近にある山の幸の販売で村おこしを成功させた女性たちのことが頭をよぎりました。ならやまは野の花の宝庫。販路さえあれば・・・・・・?

ならやまには数多くの野の花が咲きます。今頃、特に目立つのがヨウシュヤマゴボウです。

ヨウシュヤマゴボウ



別名・アメリカヤマゴボウ
ヤマゴボウ科
アメリカ原産の多年草
高さ1mから2mになる
花は白色でわずかに紅色
果実は黒紫色に熟す
アメリカではインクベリー

気になるので大阪ではどうなのかしらと中心街のおしゃれな花屋をのぞいてみると、そこでもヨウシュヤマゴボウが売られていました。さてついてたお値段は???



「ワクワク！ドキドキ！

里山で遊ぼう！②」

Green Gift プロジェクト イベント報告

子供達の夏休みも残りわずかとなった8月20日(土)、3年間続いたGreen Giftプロジェクトの最後を飾るイベント「ワクワク！ドキドキ！里山で遊ぼう！②」が、「ならやまベースキャンプ」で開催されました。

参加者は、幼児2名を含む子供35名と大人32名、それに来賓2名を加えた69名で、当会会員41名がスタッフとして対応いたしました。



【全員集合、楽しい一日のはじまりです】

好天に恵まれ日中の気温は37度近くにもなり、参加者の皆様が体調を崩されないか、それが一番気掛かりな点でしたが、熱中症対策としての水分補給徹底が功を奏し、皆さんに最後まで元気に明るくイベントを楽しんでいただきました。

午前中は、子供達が中心の飯盒炊さんとカレー作り。ブロックを使いカマドを作る事から始め、マッチを使っての火おこし、包丁を使っての野菜の皮むきにも挑戦して悪戦苦闘。子供達にとって、すべてがチャレンジ、チャレンジの連続でした。でも要領を得てからは、出来たことが楽しくて仕方がないのか、夢中になり、なかなか持ち場を離れない子や、順番待ちにしぶれを切らす子も現れました。



【早く代わってよ】



【いただきま〜す】

飯盒炊さんで炊いたご飯のおいしさに「お母さ

ん、ご飯は煙で煙たいからおいしくなったの」などと可愛い親子の会話が弾みます。食事の後の片付けも、みんなで仲良くやってくれました。



【年輪遊び】



【葉っぱの福笑い】

午後は、お楽しみの「里山の探検」。5班に分かれ里山へと足を踏み入れました。約1時間の探検コース途中には「コシダのピョン」、「年輪遊び」、「森のかくれんぼ」、「松ぼっくりの玉入れ」、「葉っぱの福笑い」と5つのゲームポイントが設けられ、里山を出たところでは、「池の生き物観察」、「昆虫クイズ」、更に鏡を使っの「ミラーウォーク・不思議な散歩」を楽しんでもらいました。



【ミラーウォーク】



【昆虫クイズ】

また、自然工作では、ならやまの竹を材料に「ブンブンゼミ」を作ってもらいました。子供達は前もって配られた「ならやま探検隊」のカードを手を持ち、各ポイント終了時にはポケモンGO宜しく、ポケモンシールを貼ってもらい嬉しそうに持ち帰ってくれました。



【ブンブンゼミ自然工作】

気が付けば3時丁度、滞りなく予定の終了時間を迎えました。皆さまの周到的な準備のお蔭で大きなトラブルもなく、無事イベントを終えることが出来ました。準備段階からご協力をいただきました皆様、また暑い中最後までしっかりとそれぞれの担当をこなしていただいたスタッフの皆様、お疲れ様でした。本当に有難うございました。

(辻本 信一)

自然教室だより

自然教室チーム 平城宮旧跡「燕の埒入り」報告

8月23日(火)は、二十四節気の「処暑」に当たり、昔からこの日を境に夏の暑さも次第に和らぐといわれていますが、この日も厳しい残暑に見舞われました。そうした中、自然教室チームでは、この時期恒例の「燕の埒入り」観察会を平城京跡で開催いたしました。



【ヨシ原に直行】



【ツバメはどこに】

当日の参加者は会員13名にご家族、お友達を含めた15名。集合時間の午後4時から午後6時半までは、のんびりと休憩を挟みながら、タデ科植物はじめ秋の植物を観察しました。

しかしながら、本日のメインイベントは何といっても「燕の埒入り」午後6時半からの参加者は全体の半数近くにのぼりました。日没間際、雲間に見える太陽は一段と輝きを増し、あたりを黄金色に染めます。それを合図に燕の一団が続々登場、いきなりのクライマックスを迎えました。



【今年は特に多いね】



【燕およそ6万羽の大群】

この日は取材に来ていたNHKのクルーに遭遇。まさかと思っていたら、案の定、二日後のニュースでオンエアされてしまいました。

確かにこれまでを遙かに凌ぐ燕の数との印象を持ちましたが、ニュースではその数6万羽と発表されており、思わず納得してしまいました。

この記事が掲載される頃にはツバメたちも旅路に就いていると思いますが、また来年、皆様も是非一度自然が織りなすこの壮大なスペクタクルを自分の目で確かめて下さい。(辻本 信一)

佐保台小学校・昆虫観察会 実施報告

9月7日(水)佐保台小学校放課後子供教室の児童を対象に昆虫観察会を実施しました。昨年は台風の為やむなく中止、児童達をがっかりさせました。今年も前日までは雨の予報、昆虫採集に代え体育館内での昆虫クイズ実施も検討しましたが、児童達の熱意が伝わり雨雲も退散、熱中症が心配になるほどの好天となりました。



【みんなで記念撮影だよ】



【バッタが沢山！！】

参加した児童の数は54名。それに対し私達スタッフは10名で佐保台小学校からも6名のコーディネーターの方が参加してくれました。

校庭での昆虫採集では左右二手に分かれ昆虫を挟み撃ち。児童達の手により次々に虫たちが捕まえていきます。あつと言う間に虫かごは昆虫でいっぱい。捕まえた昆虫は教室に戻ってみんなで観察しました。トノサマバッタ、マダラバッタ、ショウリョウバッタ、ハラヒロカマキリ、ウスバキトンボ、ホシササキリ、ヒナバッタ、コバネイナゴ、等々、30種近い昆虫を採集。観察後は全部の虫を窓から逃がしてやりました。



【昆虫博士に聞き入る】



【とんぼのめがね合唱】

その後二部屋に分かれブンブンゼミの工作。みんな思い思いに羽根の型紙に絵をかいてもらい、動眼と羽根を本体に糊付けして完成。松脂を塗った櫛棒にひっかけ、勢いよく回すとセミの声そのものの音が聞こえ、みんな満足の表情。最後には童謡「とんぼのめがね」を全員で合唱。楽しい一日が終了いたしました。学校のコーディネーターさんと自然教室チームの協力でスムーズに進み、大変有意義な放課後教室でした。(辻本信一)

9月・歴史研修会

「南山城の史跡を訪ねる」 川井秀夫

正にミラクル。大型台風の接近・秋雨前線の停滞に警報発令のリスクが予想されたが、天佑神助か、当日は曇天ながら雨の洗礼もなく、参加者25名の熱意が作用したのかも・・・。

「やましろ」は上代から「山背」「城州」と呼ばれ、大和の隣国として平安京を結ぶ官道が栄え、物流の要地として歴史を紡ぎ、文化、史跡、社寺仏閣が多く見られる所以である。

今回、木津川左岸の地域を通し、継体天皇即位から大和入りの苦難の足跡を追い、古代から室町期に到るゆかりの地を訪ねてみた。

祝園神社:崇神期に当地の支配者であった武埴安彦命が謀反のため討伐され処刑されるが祟りを恐れて悪霊を鎮める。正月に世事を避けた「いごもり祭」(居籠り)が行われる。

「祝」をホホと読むが、「葬」をハフリと読むことから対語の「祝」に転化したのかも。

湧出宮:天照大神の和魂として称徳期 天乃夫伎売命を勧請したところ豊かな水が湧き出したと言う。この地の祈雨神である。

昨岡神社・草路城址:日本史に残る山城一揆蜂起の場所。応仁の乱の余波が全国に波及したもので一向宗・国人・農民の決起が室町幕府衰退の引き金となる。



奈良街道の起点となる山本駅遺跡・寿宝寺を経て、同志社キャンパスに入る。広大な敷地に財力を誇示するように近代建築が並ぶ。敷地内には古代の遺跡が数多く、考古学ファンにとっては垂涎の場所でもあろう。時間を費やす気分になる。

筒城宮

址:継体天皇大和入りの拠点の一つだが、即位後20年の空白には謎が残る。



観音寺:キャンパスの外郭に名利があり興福寺の末寺として寺勢を誇ったと言う。本尊の十一面観世音菩薩の艶美な細身の肢体に息を呑む。車中に戻り暫し仏像の話を一席。

締めくくりは継体即位の地、樟葉宮。交野天神社の社叢林の一角にあり1500年の時空にロマンが漂う。レクチャーを聴き、謎の天皇のイメージが浮かんでくる。



今日一番はお天気でしたが、レクチャーの古川さん、藤田さん、中井さん、交通案内の

弓場さん、チャーター便の鈴木さん、新入会の小田さん、福田さん、ご参加の皆さんのご協力に、充実した一日だったと感謝申し上げます。

これからも先人たちの歴史の欠片を拾いながら現世に投影される「何か」を探りながら楽しんで参りたいと思います。西大寺北口「波平」での打ち上げ会の盛り上がりを付記しておきます。

次回は11月15日。京都 太秦 秦氏のゆかりの地を巡ります。

やさしい病害虫講座 26

「ツツジの樹液も美味しいよ！

ツツジの病害虫-2」

木村 裕

【コナジラミ類】

ツツジの花が終わって剪定しようとするときに発生に気づく方がほとんどです。純白色の小さなハエで葉や枝が揺れ動くときパッと四方に飛び散ります。大きさは長さ2ミリ前後で通常は葉の裏におとなしく止まっています。

このように見つかる白いハエは成虫です。幼虫は円盤状で葉裏にピタッと張り付いていますので、まず気がつかないでしょう。発生が多いと1枚の葉に数十匹の虫が寄生して口ばしを突き刺して汁を吸うのでシラミという名がついたのかも？



発生が多いと、お尻から出す排泄物に、すす病菌が寄生するので葉や枝は黒く汚れます。

もしこのような状態にあるのなら、大発生している証拠です。予防的には枝や葉を刈り取って風通しをよくすることです。

【ツツジコナカイガラムシ】

ツツジの葉や枝が黒く汚れているときには、この虫か先のコナジラミかのどちらかが原因です。



通常、交通の往来の激しい所に植えられたツツジに発生する傾向があります。

この虫の天敵である寄生蜂が排気ガスを嫌って寄り付かないので我が世の春になるようです。

葉に長さ数センチの綿のような物が枝や葉に付着します。その綿を開くと黄色の小さな卵がゴロゴロ出てきます。これはお母さんが苦勞して作りあげた卵を保護する袋で、数百個の卵が詰まっています。お母さんは長さ5ミリ前後の柔らかい虫で、葉や枝から栄養分を盗み取っています。

発生に気づいたら、この卵の袋を残さないように取り去ってください。

【アオバハゴロモ】

6月頃、枝に白色の綿のような物が付着します。何だろう？と思って手を触れると白い虫がピョンと飛び跳ねます。

外見からはカイガラムシのような感じがしますが、ウンカ・ヨコバイの仲間に近い虫です。(セミの遠い親戚にあたります)



この白い虫は幼虫で、成虫は緑色の三角ヨットののような形の虫です。親子ともども

も樹液を吸っていますが、実害は低いので気にしないで無視しましょう。しいて被害と言えは白い綿が付着する美観上の問題です。

【ツツジゲンバイ】

前月号で登場しましたゲンバイムシさんです。葉裏に寄生して汁を吸うため、葉に白い斑模様が現れます。ツツジではごく普通に発生する害虫で、とくにキリシマツツジで発生が多いようです。



成虫も幼虫も扁平な虫で、成虫になっても2~3ミリです。お尻から暗褐色

の粘った液体を排出するため、葉裏は褐色に汚れます。

俳句

監修 川井 秀夫

耕せば土埃立つ秋旱 あきいでり

古川 祐司

残暑に渴望の雨降らず。蕎麦播きの土壌作りは待ったなし。この労苦、天帝知るや知らずや。

明朝癸つと罌 姦し帰燕かな あす ねぐらかし ま きえん

古川 祐司

「燕の罌入り」今年には平城宮跡に六万羽とか。薄闇時の乱舞は壮観。さらばさらば長途に無事を祈る。

バス停に行雲の影秋近し こううん

羽尻 嵩

バスを待つひととき、すつーと日が翳る。空を見ればチギレ雲が走る。ああ秋が近い。作者の繊細な感性。

新涼に体内時計喋りだす

羽尻 嵩

擬人的に時計の喩えが良い。暑さで寡黙な人も今朝の涼気に饒舌となる。おいしい朝飯を早く早くー。

移りゆくひと世惜しやとつくつくし 西谷 範子

古人は鳴き声を「惜しや惜しや」と表現したと言う。夏の挽歌を聞くように哀調ひとしおの季節が過ぎてゆく。

ひと刷けの行雲流れ零余子採り は こううん むかご 西谷 範子

「むかご」は葉腋に生じる肉芽。落ちて栄養繁殖する。作者は野草に造詣が深い。今夜はむかご飯ですか。

黒米の稔田子らの丈隠す 鈴木 末一

田圃の成長が著しい。児童の背丈を越すほどに。秋の収穫に期待が高まる。台風禍の無き事を祈る。

コオロギの声が誘ふ夜道かな いざな 坂東 久平

朝晩涼しくなり虫の合唱。コンダクターは誰れ。自然の調律に、作者は指揮者のつもりかも・・・。

朝礼の場を移されて秋思かな しゅうし 坂東 久平

緑陰から日溜りへBCが移る。季節の変化を知らされる。夏時間が終り、さあ涼風に吹かれ老骨に鞭打つか。

初摘みの数珠玉可愛いと可愛い じゅうずたま 桜木 晴代

作者はこの草花にご執心。堅い苞に実がなる季節。「可愛い」のリフレインが際立つ。草刈隊気を付けてね。

柿紅葉踏み惑ひつつ荷を運ぶ 桜木 晴代

暑さのせいか夏落葉が多い。色づいた柿の葉もご同様。鮮やかな色葉に気付かう優しさ、女性ならではの。

船内の迷路も楽し秋の風 八木 順一

近海に大型船でクルージング。長大な船内は丸で迷路。甲板に出て秋を知る。風に吹かれて落ちないように。

日を避けて揚げ羽二頭がランデブー 小山 喜子男

蝶の愛好家は「匹」と言わず「頭」と数えるとか。蝶の季節も終末。恋の道行きか、初秋の一景が心地良い。

振り向けば芳香漂ふ花生姜 川井 秀夫

今が旬。なら山の路傍、畑地に噎せるような香りを放つ。Nさんから毎年一枝を頂くが部屋に充滿する匂いに癒される。

初秋のしらべ

谷川萬太郎

爽やかな秋の色の訪れに 揺れる黒髪指で丸めながら
微笑み返す貴女の優しさが ほのぼのと秋の風に揺れ
恥じらい戸惑いながら薫る 貴女の匂いに心がときめく
街外れの古い寺院の境内で 私の胸は高鳴る秋の恋心



虹色の秋の夕暮れに肩寄せ ブーゲンビリアの花に憧れ
手にした一輪の恋の花は 乾いた貴女の心を濡らす
人恋しさに華やぐその素顔 いつか秋は茜色に染まる
貴女がそこにいるだけで 私の胸は高鳴る秋の恋花

ならやま茶論

「真夏の夢」

竹本 雅昭

翁：どうしたん！ブンブンごまさんよ。

ブンブン：えゝちょっと・・・悩ましいことが。
今度のイベントではカスタネットさんと
一緒にしょ。同じ竹工作で誇らしいんです
けど、ただ。

翁：ただどうしたってんだい。

ブンブン：あたしゃね、回ってる時はなまめ
かしくブーン・ブーンと少しくなるけど、
カスタネットさんときたらカチッ・カチッ
でしょ。この暑さの中でえらく癪に
触ってしまうんですよ。

翁：そりゃあどうも神経質なこったな。

ブンブン：だってね、先日珍しく青鳩さんが来て
話してくれた昔話に、あたし・・・。

翁：何か気になることでも？

ブンブン：それは江戸時代のことなんだけど、
深川に住んでいた青鳩さんから代々伝わる
話でさ。吉原の花魁が美しい 簪^{かんざし}を飾り、

チントンシャンと三味をひき、ゆったり
と暮らしてきたんですって。あたし
すっかり花魁になったようでありんすよ。

翁：おいおい急に江戸調になって大丈夫か。

ブンブン：な〜に心配には及びませんで

ありんす。あっちも美しい回転で惚れた
男に恋心をブ〜ンブ〜ンと歌ってみたい
夢見る心地でありんすえ。

翁：そうかえそうかえ、あっしもお前さんの
夢がかなうよう祈ってるよ。

ブンブン：ありがとうございます、つまらない
話とお笑い下しやんせ。

〜終〜





皆様方からのご応募をお待ちしています。

絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸作品

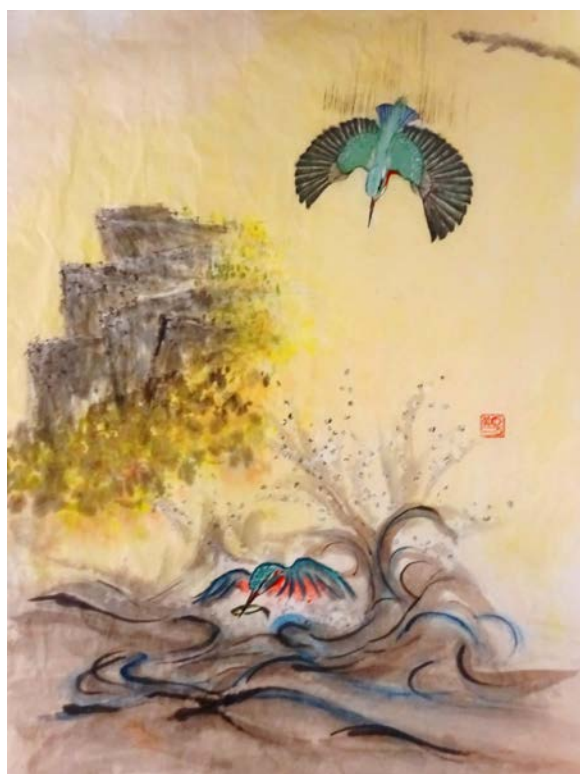
パッチワーク・切り絵など



▲油絵「奈良少年刑務所」 永井 幸次



▲陶芸「おねだり猫」 小島 武雄



▲墨彩画「秋声3」 羽尻 嵩



▲水彩画「鳥居本」 八木 順一

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
活動予定日

10 月	6 (木) 27 (木)	13 (木)	20 (木)
11 月	3 (木) 24 (木)	10 (木)	17 (木)

◆場所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約 20 haの里山林地（県有林）

◆ 集 合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆ 終了予定：午後3時

◆アクセス

① J R 平城山駅下車：東口から南へ徒歩 10 分

② 近鉄奈良駅：バス 1 3 番乗り場 115 系統
8：28 発、高の原行き（平日）

③ 近鉄高の原駅：バス 1 番乗り場 115 系統
8：36 発 J R 奈良駅西口行き（平日）

②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車
徒歩 7 分

◆ 携行品など：弁当、飲み物、
軍手（作業用具は現地で用意）

◆ 環境保護のため、お椀、箸、
コップなどは各自ご持参下さい。

◆ 連絡先：八木 順一



里 山 Gr

10/6 協働作業の日

萌芽・植樹林の調査
枯死木伐倒・枝の整理
マキ割り

経団連の生育調査

13 20 27

萌芽・植樹林の調査
枯死木伐倒・枝の整理
マキ割り／経団連の生育調査



エコファーム Gr

10/6 協働作業の日

葉菜類種まき（ホウレンソウ、水菜、ミブナ
チンゲン菜）／茄子、唐辛子、ピーマン、パプリ
カ撤去と後片付け 耕耘

13

ネギに肥料と土寄せ／水稻の稲架用竹の準備

20

稲刈り（佐保台小学校・会員）雨天 27 日

27

脱穀作業（佐保台小学校・会員）雨天次月 3 日
エンドウの種まき



景 観 Gr

10/6 協働作業の日

整備：第五地区草刈り・整備
ビオ：池の整備
花：寒咲花菜種蒔き
パト：観察路の丸太階段補修

13

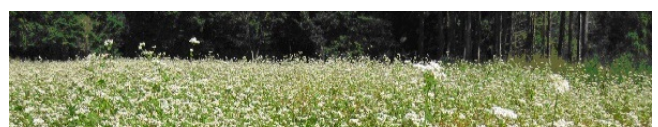
整備：BC 周辺草刈り・整備
ビオ：西池生物調査
花：茗荷移植、葉牡丹移植
パト：観察路の丸太階段補修

20

整備：BC 周辺草刈り・整備
ビオ：池の整備
花：山野草園草取り整備、春花種蒔き
パト：笹刈り、観察路の安全点検整備

27

整備：そば収穫 協働作業依頼予定（午前中）
ビオ：池の整備
花：モミジアオイ・シモツケ移植
パト：テント倉庫整理





行事案内 part 1

秋のめぐみだ！ お芋を掘ろう！

暑かった夏もようやく終わりを告げ、実りの秋へと季節が移りかわってきました。「収穫の秋」、「めぐみの秋」そして「食欲の秋」、さわやかな季節の到来です。

今年もならやまではたくさんの農作物を収穫する事が出来ました。そのめぐみに感謝し、林野庁交付金事業、教育・研修活動の一環として、恒例の芋掘りイベントをならやまベースキャンプにて、下記要領にて公開イベントで実施致します。

午前中は子供達を中心にみんなで芋掘りを楽しみ、芋の大きさ（重さ）や蔓の長さのコンテストを行います。また昼食時には、収穫したお芋をふんだんに使ったならやま名物の豚汁をみんなでご賞味いただきます。

午後からは里山に入り自然観察を行います。観察路のところどころで工夫を凝らしたクイズやゲームを楽しんでもらい、街中にある里山の自然のすばらしさ、自然の大切さを遊びの中から学んでいただきます。

皆さま方にも秋の好日をスタッフとして子供達と共に楽しんで頂ければと思います。多数のご参加お待ちしております。

①日 時：平成28年10月15日（土）

午前10時～午後3時

※雨天の場合は翌日16日（日）に順延

②場 所：ならやまベースキャンプ

エコファーム、ならやま里山林

③参加者：佐保台小学校放課後子供教室の

子供達と保護者の方中心に約50名

④内 容：午前中：芋掘り、芋のコンテスト、

午後：ならやまの探検、自然観察、自然遊び

※ならやまの探検では里山林を散策しながら途中クイズやゲームを楽しんでいただきます。

（辻本信一）

15周年記念 一泊研修バス旅行案内

錦秋の美作・西播磨の自然と文化を訪ねて！

日時：平成28年10月18日（火）～19日（水）

行先：兵庫フラワーセンター・岡山県立森林公園 蒜山高原・勝山・乙大木谷の棚田・平福など。

集合場所：大和西大寺駅南口午前7時50分

行程：10月18日（火）

大和西大寺駅ー加西 ICーフラワーセンター院庄 ICー奥津温泉花美人の里（昼食）ー岡山県立森林公園ーひるぜんワイナリーー休暇村蒜山高原（泊）

行程：10月19日（水）

休暇村蒜山高原ー塩釜の冷泉ー勝山町並み保存地区（昼食）ー久世 ICー作用 ICー乙大木谷の棚田ー宿場町平福ー名塩 SAー大和西大寺駅（解散）

*会費：¥25,000 円/1人

*持ち物：飲み物・雨具・観察用品・セーターなど（寒さ対策）

*宿泊先：休暇村蒜山高原 TEL0867-66-2501

①『兵庫県立フラワーセンター』・加西市にあり約46haにおよぶ自然林を生かした全国有数の花の公園で、南国ムードあふれる大温室ではベゴニア・ストレプトカーパス・食虫植物は国内で有数のコレクションを誇っている。

②『岡山県立森林公園』・苫田郡鏡野町の奥深い山の中、標高1000m、面積334ha 甲子園の90倍、水源の森100選、森林浴の森100選に選ばれた園内を北展望台(900m)までガイドツアーで自然観察を2時間予定しています。

③宿泊は、大山隠岐国立公園にある広大なリゾート感たっぷりの『休暇村蒜山高原』、天然ラドン温泉の大浴場からは、蒜山三座のパノラマや牧場風景を眺めることができます。翌朝に爽やかな高原を散策できる時間をとっています

④佐用町にある 陰陽師の里 乙大木谷の棚田（日本棚田100選）を高台から眺めます。

・担 当；鈴木、富井、田矢、小島、青木(幸)

連絡先：富井 忠雄



行事案内 part 2

自然教室チーム 10月観察会のご案内 秋のならやま自然観察

秋の訪れとともに、吹く風は肌に心地よく、野山に足を運びたくなる季節となりました。

自然教室チームでは、この絶好の時期を捉え、私達の活動の場である「ならやま」里山林をみんなで散策し、秋の自然をからだで感じながらそこにどのような植物が根付き息づいているかを知っていただくため、今年6月に引き続き「ならやま」での自然観察会第2弾を実施いたします。

6月の観察会では「ならやま」ベースキャンプ周辺にて植物調査を実施、20名の方にご参加いただき、170種以上もの植物を同定し、改めて里山ならではの植生の豊かさを認識いたしました。

今回は、10月22日(土)午前中に開催される会員家族を対象とした芋掘りイベントに協賛し、昼食を挟んで午後より「ならやま」里山林での自然観察会を実施いたします。

「活動日にはなかなか時間が見つけられず、これまでじっくりと里山林の植物を観察する余裕がなかった。」とおっしゃる方、「これを機に、よく見る植物の名前が知りたい。」とおっしゃる方、「素敵な私達のならやまの自然を家族にも見せたい」とおっしゃる方、みなさん挙ってご参加ください。

①日 時：平成28年10月22日(土)

午後1時～午後3時

※午前中の会員家族向け芋ほりイベントに協賛し同日午後より実施いたします。

※雨天の場合は翌日23日(日)に順延。

②場 所：ならやま里山林

③参加者：自然教室チームメンバーのみならず一般会員並びに家族の方(申し込み不要)

④内 容：自然教室チーム担当者の案内で、日ごろパトロール班・里山グループの皆様に整備して頂いている里山林観察路を巡り、木本、草本を中心に自然観察を実施いたします。

(辻本信一)

11月ならやま活動&行事予告

*ならやま活動

11月3日(木) 協働作業の日

「フレンドシップ・フォース奈良」交流会

11月24日(木) 新蕎麦祭り

*月例研修会(自然教室チーム)

11月22日(火) 自然観察会

秋の馬見丘陵公園



*歴史文化クラブ

11月15日(火) 聖徳太子と泰河勝

木嶋神社・広隆寺・松尾大社・嵐山など

奈良学クイズ

【問】写真の瓦葺がされている寺院について

- ① 寺院の名称をお答えください。
- ② このような瓦葺の名称をお答えください。



【応募要領】

(1) メール又はFAX

narayama@naranature.com

(2) 締切日

10月2日(日)

(3) 正解者の記念品

平成28年・9月度幹事会報告

日時: 平成28年8月30日(火)14時～17時

場所: 奈良市中部公民館 2F 学習室

出席者：顧問・幹事 17 名（欠席者：6 名）

議事:

I. 会長挨拶

8月イベント終了に際しての謝辞。

II. 會計・事務局報告

- ① 会員数 152 名（新加入により 1 名増）
- ② 年会費未納者に納付願い送付。
- ③ 会計報告：7 月度収支報告

III. 活動・行事関係、課題・懸案・確認事項

1. 3ヶ月スケジュール、当月スケジュール確認
 - ・9/15 いこま宝の里メンバー来訪追加。
 - ・9/20 矢田丘陵観察会、10/15 芋掘りイベント
雨天時予備日をそれぞれ 9/21、10/16 とする。
 - ・9/26 例研街歩きウォーキングは 9/30 に変更。
 - ・10/20 佐保台小学校イネ刈りを追加。
 - ・9/1 協働作業：彩の森とイチゴ畑の蕎麦播種。

2. ならやまプロジェクト関係：配布資料説明

3. 活動報告と予告

- ① 月例研修会（会報記事参照）
② 自然教室（会報記事参照）
・ 8/23 平城京跡にて燕の埒入り観察会実施

③ 歴文研修（会報記事参照）

4. イベント（報告と予告）

- ① 8/20 今年度最後のGGプロジェクト終了。
- ② 10/15 芋掘りイベント実施予定。

5. 林野庁交付金事業進捗状況説明。

6. 経団連助成金事業進捗状況説明。

IV. 広報関係：ネイチャーなら 10 月号編集内容

確認。HP 改正案、会員専用ページ新設説明。

V. 周年行事(事業):15周年記念行事として10/18

～19 一泊研修旅行実施。受付開始 9/1 より。

VI・その他:・フrendシップ・フオース奈良 (FF)

11/3 来訪予定。

次回幹事会は、9/27(火)午後 2 時中部公民館

以上

◆ 申し合わせ ◆

* 通常活動日【木曜日】や屋外のイベントは、前日19時前のNHKの天気予報で、当該地域の午前の降水確率が60%以上の場合、中止とします。

*通常活動日が中止になった場合は、翌日【金曜日】を振替活動日とします。

奈良県北部の降水確率は次のURLでも確認可能です。
(<http://www.jma.go.jp/jp/yoho/335.html>)

*臨時活動日を月曜日にする事があります。
(事前に担当役員から連絡します。)

◆ ロジステーション



国境なき医師団（MSF）の後方支援をしている人達の事で、物資の輸送からねずみの駆除などの様々な活動をしており、医療や援助に不可欠の存在のようです。

彼らは海外で、想定外の商習慣、多様な文化、環境、言語の違いに対応しながら、活動をしています。そして、自身を活動にささげ、より多くの命を助けたいとの想いで、参加しておられるそうです

私達は、ボランティア活動を通じて、地域社会への貢献を目指していますが、分野は違って、自身の信念に基づき行動する点では相通ずる所があると思います。

(行々子)

会報誌[ネイチャーなら]・第177号

発行：奈良・人と自然の会

会長 鈴木 末 一

URL : <http://www.naranature.com>



編集チム代表：坂東久平